

造園の廃棄物を利用したキノコ栽培に関する研究 ～循環型の環境創造を目指して～

北稜高校 造園科

1. 研究の目的

総合実習の授業で、剪定や施工の際に発生する廃棄物の多さに着目した。造園は環境の創造を行う一方で、剪定枝などの廃棄物の主な処分方法は焼却によるものであることから対策の必要性を感じた。本研究では、剪定チップを使ったヒラタケの菌床栽培試験とその活用法の検討を目的として循環型の環境創造に取り組んだ。

2. 研究概要

- (1) 廃棄物の種類と処分方法の調査
- (2) 活用方法の検討
- (3) 剪定枝を活用したキノコ栽培
- (4) 廃材を活用した用土づくり
- (5) 情報発信及び普及



3. 研究内容



剪定した枝のチップ化



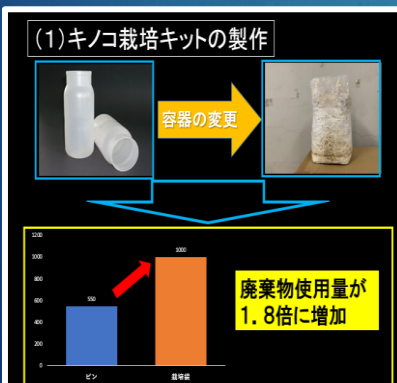
キノコの培地栽培調査



キノコ作り

4. 研究成果・課題

今年度は、これまで廃棄されていた剪定枝を使ったキノコ栽培に成功し、剪定枝から食材という造園分野における資源活用の新しい流れを見出すことができた。循環型の環境創造を実現に向けた今後の展望として、廃培地用土が植物に与える影響を科学的に検証していきたいと考えている。



資源活用の結果



中学校との交流会



完成したキノコ